

伝える、つなげる、適正価格を考える「食と農の魅力旅」 適正価格が持続可能な農業を創る

静岡県立磐田農業高等学校
食と農の魅力旅プロジェクトチーム

1 みどり戦略との関連性

『消費者と生産者の交流を通じた相互理解の促進』

私たちが企画・運営する「磐農生と巡る 食と農の魅力旅」(一般の参加者を募集 定員20人 参加費19,500円)の内容は、
○農・食の体験：農業の楽しさや大変さ、食の美味しさを理解
○文化の学習：農業の多面的機能の理解
○磐農生のお米講座：お米農家(現状・経費・努力等)の理解
などを行います。それらを通して、お米の適正価格を考えることに挑戦しました。来年度以降も、「食と農の魅力旅」は磐田市の農業活性化事業として、取り組んでいく計画です。

2 取組みのきっかけ

令和の米騒動により、コメの価格が高騰し、消費者は価格に納得できずコメ離れが進んでいます。米騒動の前までは、米価は下がる一方であったため、生産者の廃業が増加していました。米価において生産者と消費者にはギャップがあり、お互いが不幸になっていると思ったことがきっかけです。誰もが幸せな適正価格とはどのように決めるべきか考える時だと思いました。

3 目標

「食と農の魅力旅」を通して、誰もが幸せになるコメの適正価格を考え、生産者と消費者がつながることの重要性を明らかにする。

**適正価格とは 生産者：生産意欲が高まる価格
消費者：納得して購入できる価格
○適正価格とは、誰もが幸せになる価格！**

4 取組内容

磐農生と巡る 食と農の魅力旅とは

- 磐田市の魅力的な農や食へ案内する観光ツアー
- 磐農生が企画・運営を行う
- 一般の皆さんを対象とする
- 今年で3年目



(1) 昨年度からの改善と魅力UPポイント

- ①バス移動をやめて自家用車利用とした。
- ②磐田市と観光協会との連携強化。主催者は磐田市。
- ③魅力旅が始まる前に、料理人を農家へ案内して、食材の売込みを行った。農と食をつなげる。
- ④お米農家「農健」(有機栽培)を舞台に、4回シリーズ(今までは1日だけ)とし、各回にテーマを設け、米農家を理解する物語とした。

(2) 参加状況等

参加者20人(定員20人 36人が応募)
参加費19,500円(4回分総額)

(3) 活動内容構成図



(4) 食と農の魅力旅 活動内容

1 回目「米のはじまり」5月24日(土)

- ①農健(お米農家)：田植え体験(無農薬・無化学肥料)
- ②遠州オリーブ：オリーブオイルのテイスティング
- ③GREENITY IWATA：地元野菜をつかったフルコース
- ④お米講座：米農家の廃業→適正価格の必要性の説明

【参加者が考える適正価格】**3,010円**(5kgアンケート結果)



2 回目「水の恵み」7月26日(土)

- ①農健(お米農家)：水田の生き物調査(豊かな生態系)
- ②世界遺産 寺谷用水：見学と説明(住民で守る用水)
- ③日本料理 ころの：天竜川の鮎、土鍋で炊いたご飯
- ④お米講座：農健の経費と努力を説明

【参加者が考える適正価格】**3,842円**(5kgアンケート結果)



○新米の価格を農健の砂川さんと相談

砂川さんの発言「毎年、買ってもらえる価格と品質でありたい」

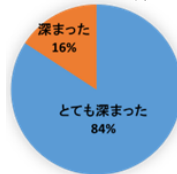
上記の言葉を大切に、参加者は3,842円が適正価格と考えているが、農健の経費(賃金込み)と利益率によって

「3,600円」を販売価格とした。第3回魅力旅「米の収穫」で販売価格を発表し注文をとる予定。

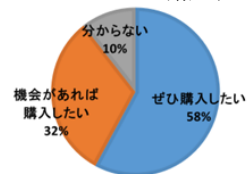
4 結果

(1) 参加者アンケート結果の振返り(19人回答)

質問①農家や農産物の理解
は深まったか



質問②農産物を適正価格
で購入するか



魅力旅を通して、農家や農産物への理解が深まり(深まった100%)、適正価格での購入(購入したい90%)が促されていることが分かる。伝えることが、生産者と消費者のつながりを生み、適正価格の売買を可能にしている。

伝える(体験学習)

つなげる(相互理解)

行動(適正価格)

(2) 適正価格の変化

消費者が考える適正価格が、魅力旅によって3,010円(5kg)から3,842円と変化した。そして、生産者は消費者のこと、地域の未来のことを考えて3,600円を販売価格とした。

5 考察・まとめ

魅力旅において、参加者の「美味しい」という言葉で生産者(農家・飲食店)の意欲を高め、適正価格での販売により農業収入が安定し、農業従事者の減少を止めることができる。また、消費者は「推し農」がみつかり、安全で美味しいコメを購入し、健康になる。つまり、生産者と消費者が相互に理解し、地域の未来を考えることによって適正価格は決まり、持続可能な農業(社会)につながるのである。